

平成30年度学校評価結果とその分析

平成31年3月15日

千葉県立銚子高等学校

平成30年12月中旬に職員、生徒、保護者を対象にマークシートでアンケートを実施した。それぞれの質問に対し、「十分」、「やや十分」、「不十分」（保護者アンケートでは、「わからない」を設定した）から該当するものを選択してもらった。

「十分」、「やや十分」という回答の合計を「肯定的な回答」と捉え分析している。「十分」、「やや十分」の合計が90%以上の場合は青く塗りつぶし、60%以下の場合は、ピンクで塗りつぶしてある。

1-1 職員による評価（その1）

A十分 Bやや十分 Cやや不十分 D不十分

1 教務部		A	B	%	C	D
1	地域や学校、生徒の実態に基づく教育課程となっている。	10	21	89	4	
2	生徒の理解度に応じた補充的・発展的学習指導を行っている。	7	26	94	2	
3	生徒の学習意欲や学力向上のため授業の点検・工夫改善を行う。	9	26	100		
4	教科、学年、他分掌の連携はとれている。	4	22	74	8	1
5	授業時数は確保されている。	17	18	100		
6	定期考査はスムーズに運営されている。	16	18	97	1	
7	その他の業務全般は正確・適切になされている。	9	22	89	4	
8	生徒に読書への興味・関心を持たせている。	4	18	63	12	1
9	指導要録の記入・点検が適正に処理され整理保管されている。	11	22	94	2	
10	図書館の開館時間、閉館時間は適切である。	19	16	100		
11	ホームページの更新及び保守に努めている。	9	22	89	3	1
12	情報の各種研修を行いスキルアップ、情報モラル等のレベルアップを図る。	9	22	89	4	

2 生徒指導		A	B	%	C	D
1	生徒指導に対する年間の反省が次年度に反映している。	8	24	91	2	1
2	共通した指導方針の下、教員が一丸となり指導している。	5	24	83	5	1
3	いじめ・暴力対策など人権尊重の立場に立った指導がなされている。	13	22	100		
4	生徒の規範意識を高める取組を行っている。	8	26	97	1	
5	交通安全、薬物乱用防止等外部関係機関との連携を図り指導している。	22	13	100		
6	悩みなど気軽に相談できる教育相談体制が整備されている。	10	21	86	5	
7	委員会活動は充実している。	7	19	76	8	
8	家庭、地域、関係機関との連携ができています。	14	19	100		
9	豊かな心を育む取組が行われている。	10	25	92	3	
10	健康診断が円滑に実施されている。	20	15	97	1	

1-2 職員による評価（その2）

3 進路指導

		A	B	%	C	D
1	自己の適性や能力を十分理解させ進路選択を早い段階で行う。	6	25	94	2	
2	進路実現のため、3年間を通じた教育計画が立てられている。	8	22	91	3	
3	進路指導室やHRで情報が的確に収集整理され、教師や生徒が活用している。	9	21	91	3	
4	特性を引き出し、表現力を高める面接指導を行う。	11	19	91	3	
5	特性を引き出し、表現力を高める小論文指導を行う。	8	21	88	4	
6	系統的な進路指導のため各分掌等での連携がなされている。	3	20	68	11	
7	外部模試を活用して学力の把握及び学習状況の改善に取り組む。	11	20	94	2	
8	総合学習と連携させながら進路について考え、将来の進路について関心を深める。	4	26	88	4	
9	希望別ガイダンスを行い、情報収集及び具体的な受験準備に取り組む。	14	19	100		
10	進路未定者をなくし合格率や現役合格率を上げる。	13	19	97	1	
11	大学受験のための進学講習を行い、学力の向上を図る。	13	19	97	1	

4 総務部

		実現度				
		A	B	%	C	D
1	式典・行事等の準備に余裕を持って当たる。	16	17	94	2	
2	式典・行事等の実施に他分掌との協働関係は円滑に機能している。	14	18	91	3	
3	学校・PTA・同窓会の協力体制の発展を図る。	16	16	97	1	
4	校舎内外の美化と清掃が徹底している。	6	15	58	14	1
5	防災訓練を通して、防災意識は高まっている。	6	26	91	3	
6	各種奨学金事務は適切に処理されている。	7	15	63	9	4

5 学校経営

		実現度				
		A	B	%	C	D
1	本校の重点目標は、全職員に周知・徹底されている。	19	13	91	3	
2	教職員の服務規律への自覚が高い。	14	19	94	2	
3	教育活において保護者や地域に積極的に発信し、開かれた学校づくりを推進する。	13	22	100		
4	指導要録等の諸表簿は、適正に処理され保管されている。	21	14	100		

1-3 職員による評価（その3）

保護者、地域に向け、本校の教育活動に関する情報を積極的に発信し、開かれた学校づくりを推進している。昨年度と比較すると、進路指導における評価は概ね良好であった。

今後の課題は、「読書週間の確立」、「分掌と学年との連携」及び「校舎内外の美化」があげられる。対応策として、

- 1 新聞コーナーの設置及び図書委員の活動の活性化に取り組む。
- 2 学校教育目標を具現化するための職員による共同体制の確立に取り組む。